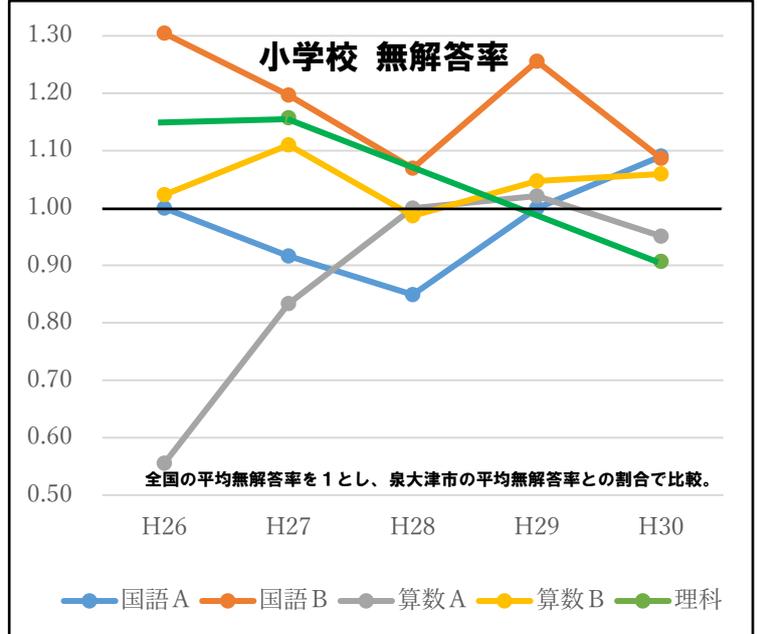
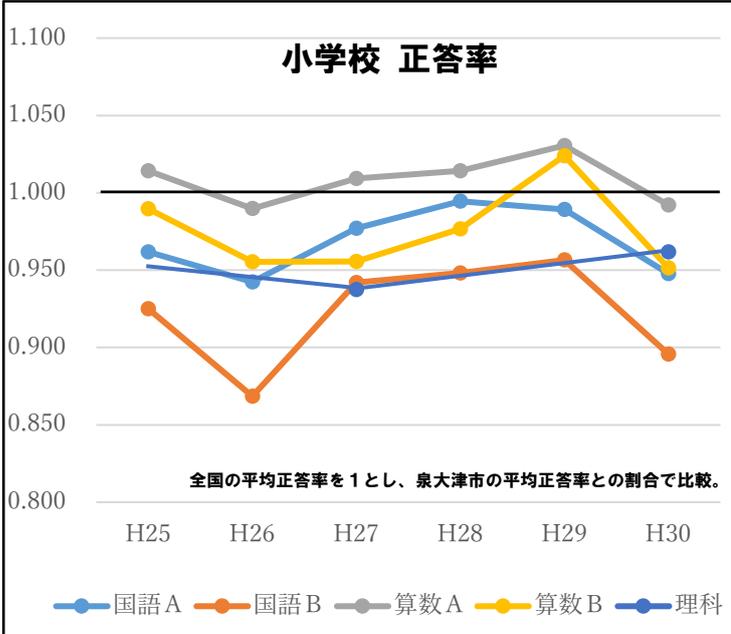


小学校結果

正答率比較

小学校は、国語および算数のA区分（主として「知識」）・B区分（主として「活用」）ともに、昨年度より正答率が下がっています。昨年度は算数のAおよびB区分ともに正答率が全国平均値を上回っていましたが、今年度は下回る結果となっています。理科については、平成27年度より正答率は上がっていますが、全国平均値には達していません。

無解答率は、算数のA区分と理科は全国平均値を下回っています。しかし国語のAおよびB区分、算数B区分は全国平均値を上回っています。



領域・観点・問題形式別

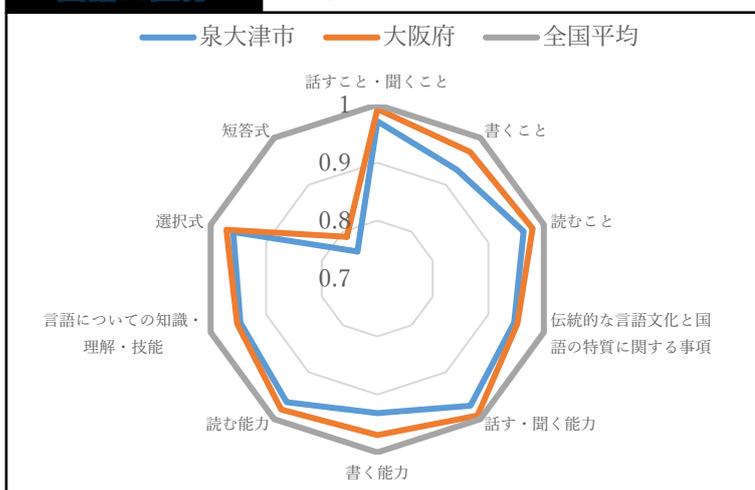
小学校は、国語に関してはA区分・B区分ともに「書くこと」に課題が見られます。特にB区分の「記述式」の問題は経年の課題です。目的や意図に応じ、複数の資料から適切な内容を取り上げて書いたり、自分の考えを明確にしながら読んだりすることに課題があり、指導事項を明確にして言語活動を通じた指導の充実が求められます。

算数に関しては、平成29年度はA区分・B区分ともに正答率が全国平均値を上回っていましたが、平成30年度は正答率が全国平均値を下回っています。論理的に考察し、数学的に記述することに課題があり、指導の充実が求められます。

理科に関しては、知識・理解はほぼ全国平均に達していますが、「記述式」問題に課題が見られます。実験結果をもとに、より妥当な考えに改善し、その内容を記述することに課題があり、指導の充実が求められます。

国語 A 区分

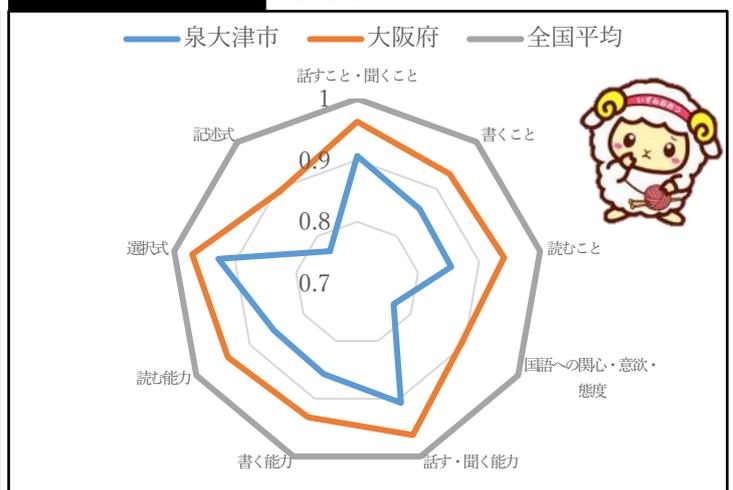
小学校



全国の平均正答率を1とし、泉大津市の平均正答率との割合で比較。

国語 B 区分

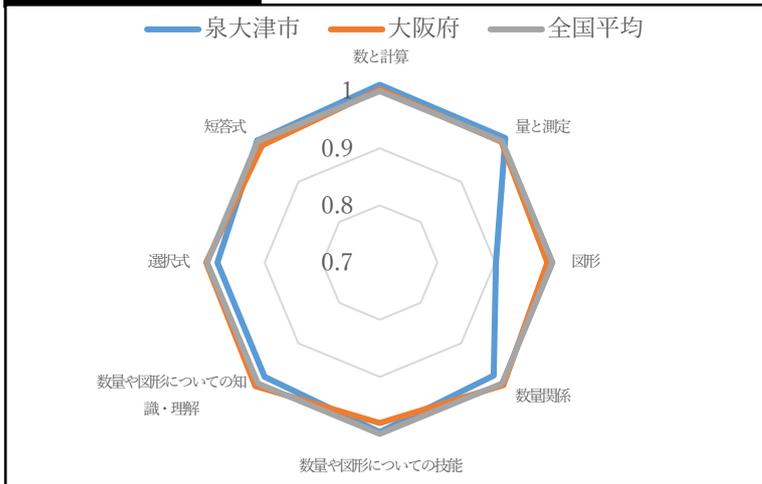
小学校



全国の平均正答率を1とし、泉大津市の平均正答率との割合で比較。

算数A区分

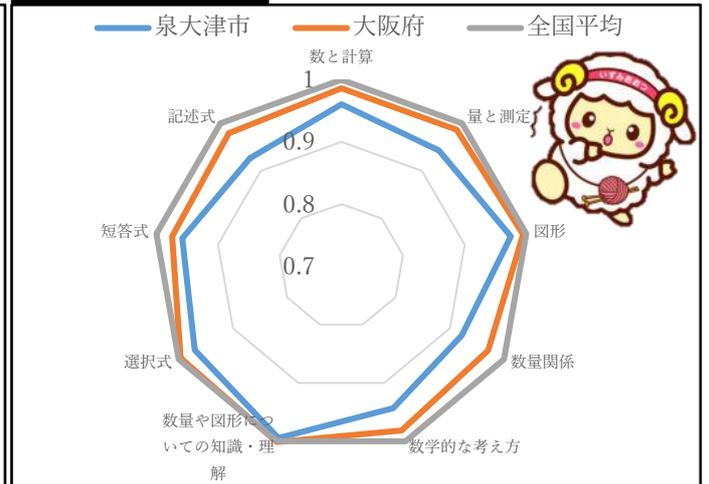
小学校



全国の平均正答率を1とし、泉大津市の平均正答率との割合で比較。

算数B区分

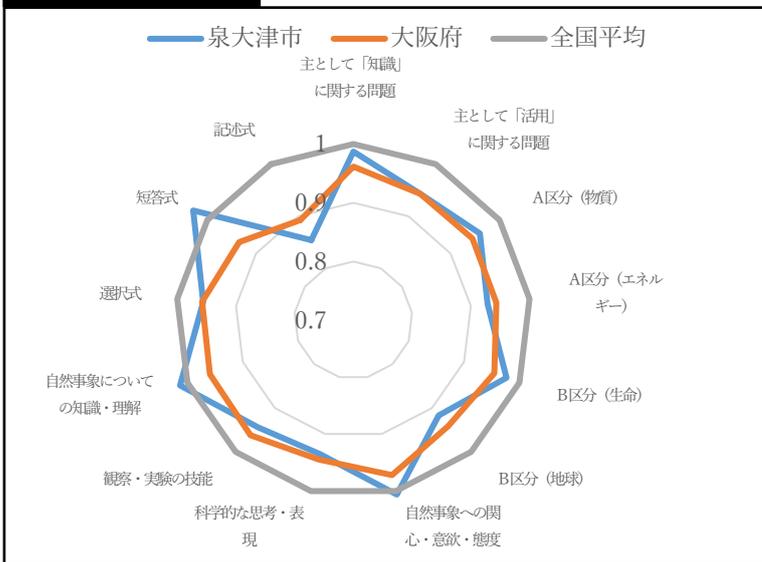
小学校



全国の平均正答率を1とし、泉大津市の平均正答率との割合で比較。

理科

小学校



全国の平均正答率を1とし、泉大津市の平均正答率との割合で比較。

具体的な課題

「国語」

- ▲文中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くこと
- ▲目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと
- ▲目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと

「算数」

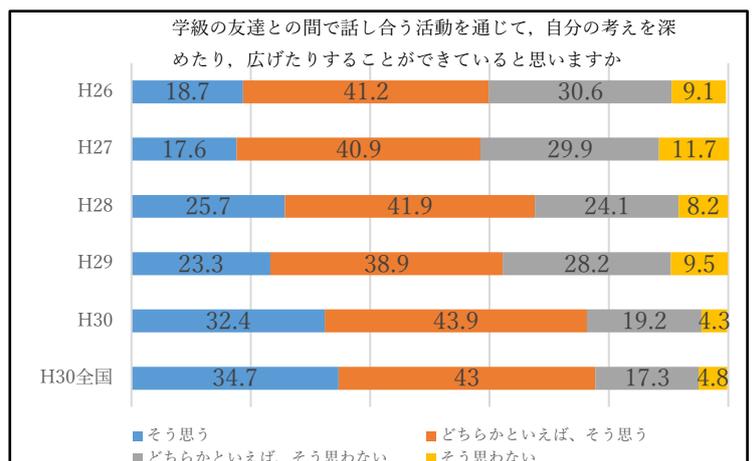
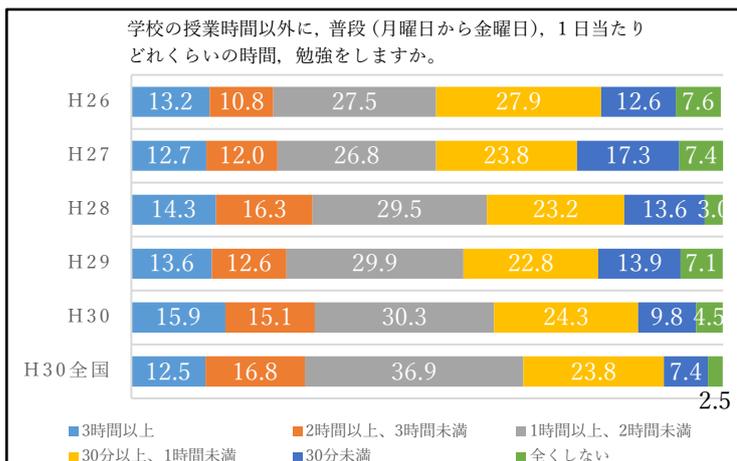
- ▲円周率の意味について理解すること（円周率を求める式を選ぶ）
- ▲メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述すること

「理科」

- ▲実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述すること

学習状況調査結果

小学校では授業時間以外の家庭学習の時間が増えています。30分未満～全くしない児童の割合が全国平均値には達しないものの減少傾向にあり、学校での家庭学習についての取組みの成果が出ています。また、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりできる児童が増えており、児童が主体的に学習に取り組む、自ら考えて課題を解決していく授業作りを、さらに推進していくことが求められます。

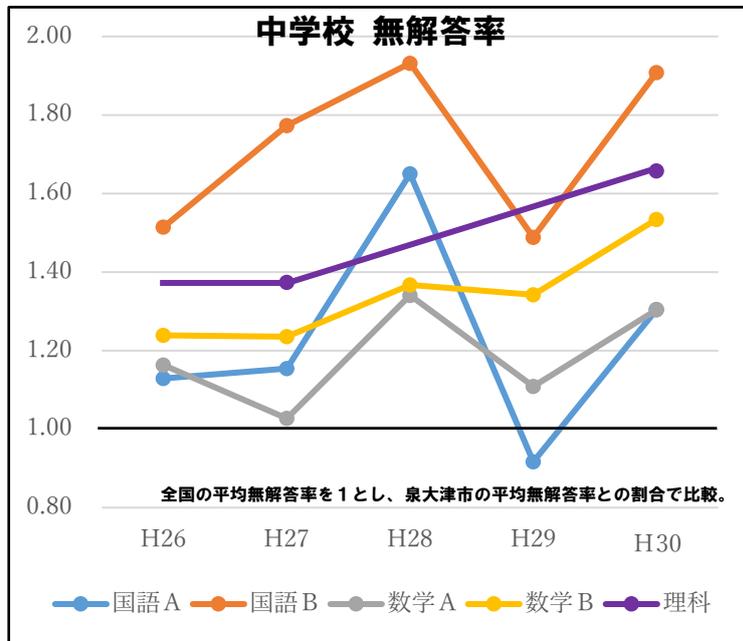
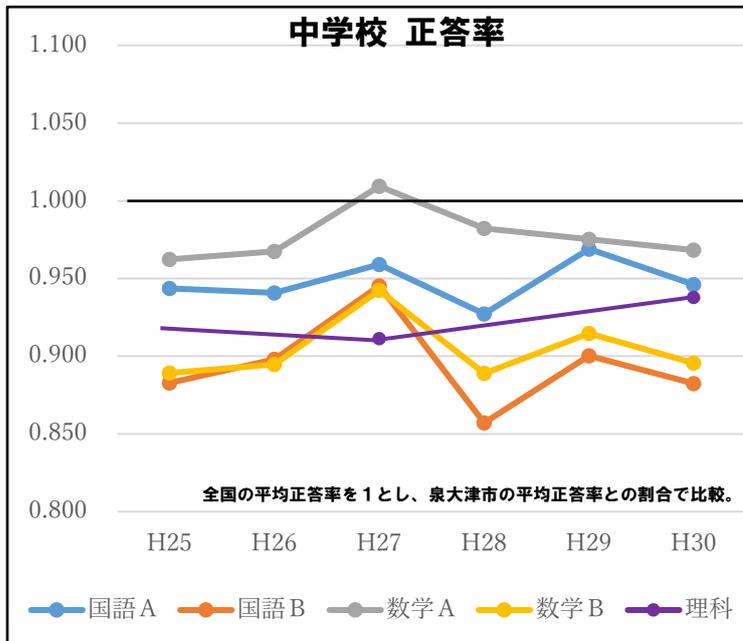


中学校結果

正答率比較

中学校は、国語および数学のA区分（主として「知識」）・B区分（主として「活用」）ともに、昨年度より正答率が下がっています。理科については、平成27年度より正答率は上がっていますが、全国平均値には達していません。

無解答率は、国語および数学のA・B区分と理科で上がっています。平成29年度は、国語のA区分で全国平均値を下回っていましたが、平成30年度は全国平均値を上回っています。



領域・観点・問題形式別

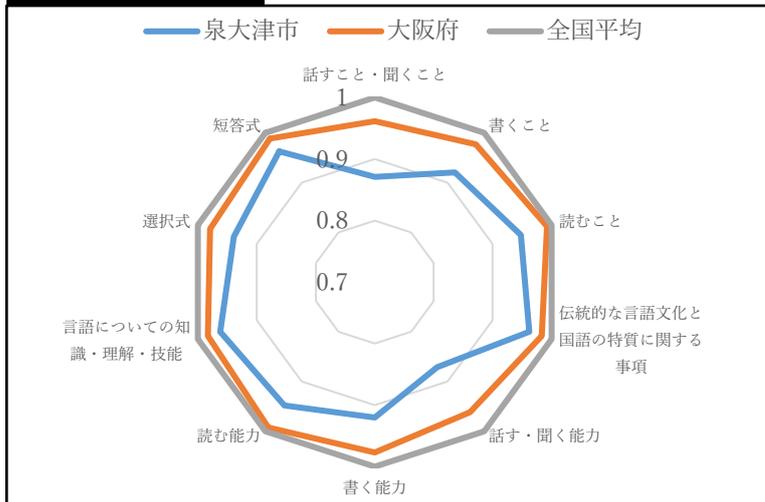
中学校は、国語に関してはA区分・B区分ともに「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」全てに課題が見られます。特にB区分は無解答率も高く、経年の課題です。目的に応じて文章を読み、内容を整理して書いたり、相手の反応を踏まえながら話したり、相手に的確に伝わるように書くといったことに課題があり、指導の充実が求められます。

数学に関しては、平成29年度はA区分・B区分ともに正答率が全国平均値を上回っていましたが、平成30年度は正答率が全国平均値を下回っています。判断の理由や問題解決の方法を、数学的な表現を用いて説明することに課題があり、指導の充実が求められます。

理科に関しては、知識・理解はほぼ全国平均に達していますが、自然の事物・現象に含まれる要因を抽出して整理し、条件を制御して実験を計画することや、観察・実験の結果などの根拠に基づき、多面的に思考・検討して改善することに課題があり、指導の充実が求められます。

国語A区分

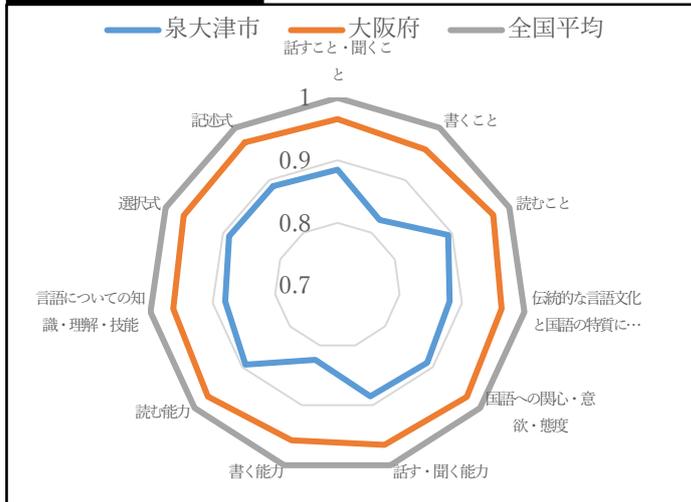
中学校



全国の平均正答率を1とし、泉大津市の平均正答率との割合で比較。

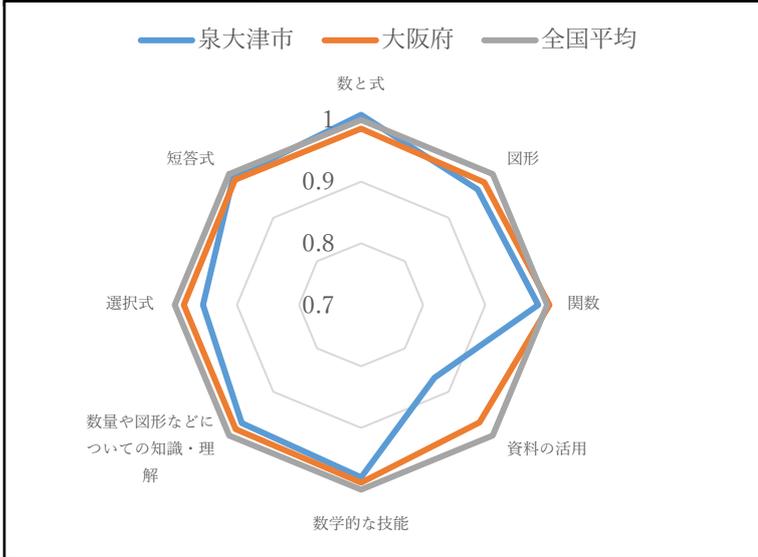
国語B区分

中学校



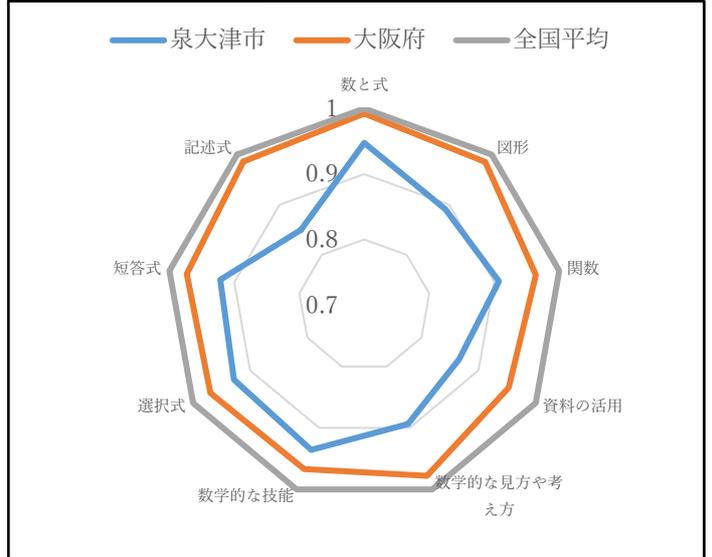
全国の平均正答率を1とし、泉大津市の平均正答率との割合で比較。

数学A区分 中学校



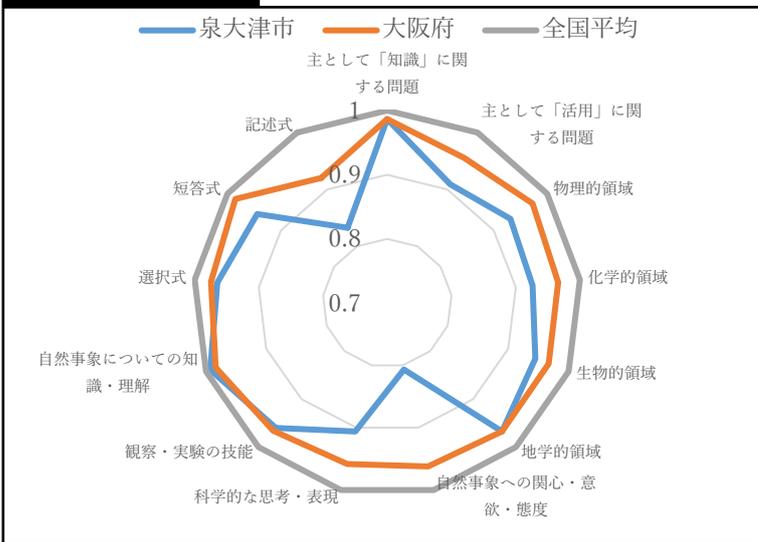
全国の平均正答率を1とし、泉大津市の平均正答率との割合で比較。

数学B区分 中学校



全国の平均正答率を1とし、泉大津市の平均正答率との割合で比較。

理科 中学校



全国の平均正答率を1とし、泉大津市の平均正答率との割合で比較。

具体的な課題

「国語」

▲目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くこと

▲全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すこと

「数学」

▲計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明することができる

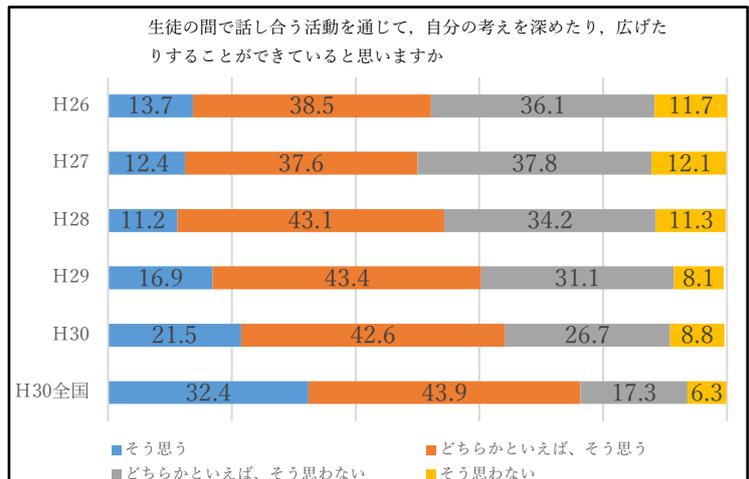
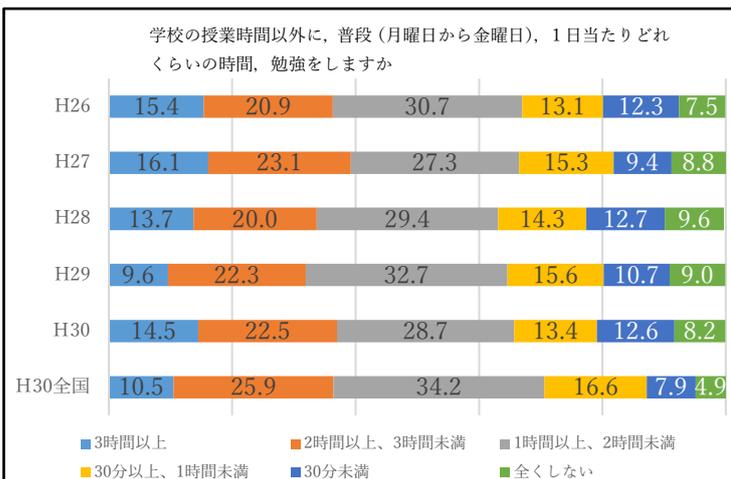
▲不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明すること

「理科」

▲自然の事物・現象に含まれる要因を抽出して整理し、条件を制御して実験を計画すること

学習状況調査結果

中学校では授業時間以外の家庭学習の時間について、「全くしない」が減っています。しかし「30分未満」が増えており、今後も家庭での学習方法等を具体例を挙げながら指導する必要があります。また、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりできる生徒が増えており、生徒が主体的に学習に取り組む、自ら考えて課題を解決していく授業作りを、さらに推進していくことが求められます。



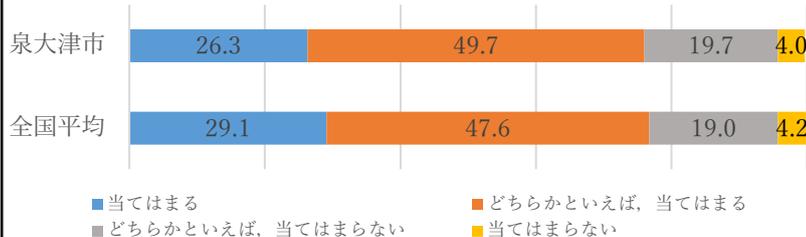
クロス集計

学習状況との相関

平成30年度の質問紙調査の結果の中で、学力調査の平均正答率と相関関係が見られる項目について、抜粋しています。小学校においては、「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」の回答状況と学力調査の正答率とを照らし合わせて集計しています。中学校においては、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」の回答状況と学力調査の正答率とを照らし合わせて集計しています。

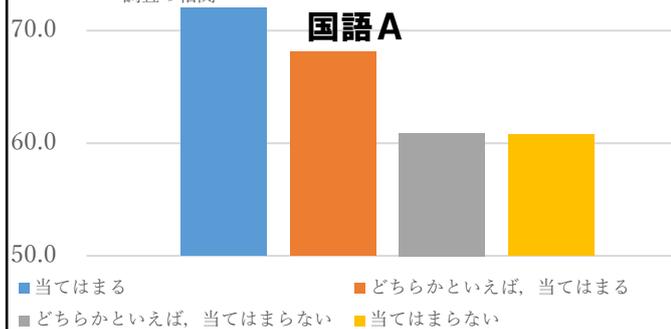
小学校

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか

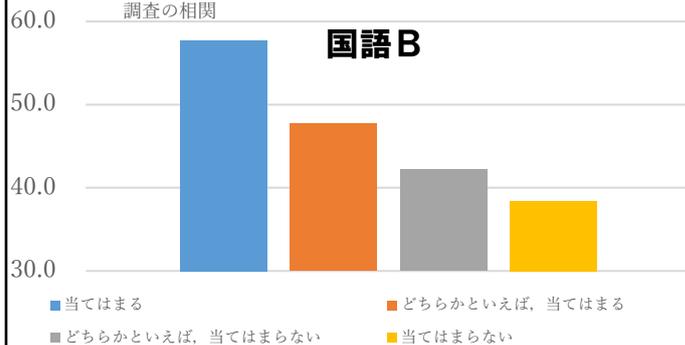


児童質問紙（55）「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」と学力調査との相関においては、授業において、主体的に取り組んでいたと考える児童ほど、正答率が上がっていることがわかります。

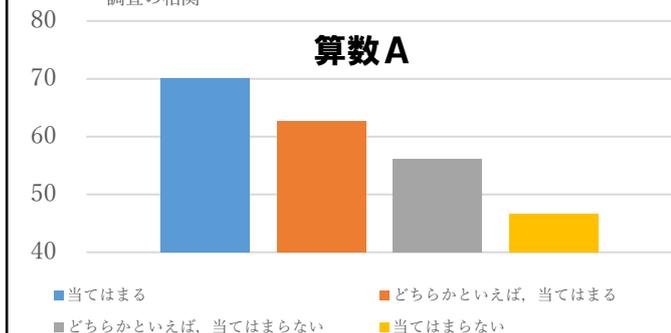
「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」回答状況と学力調査の相関



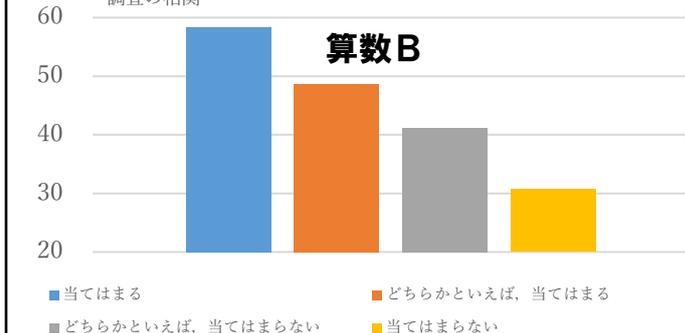
「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」回答状況と学力調査の相関



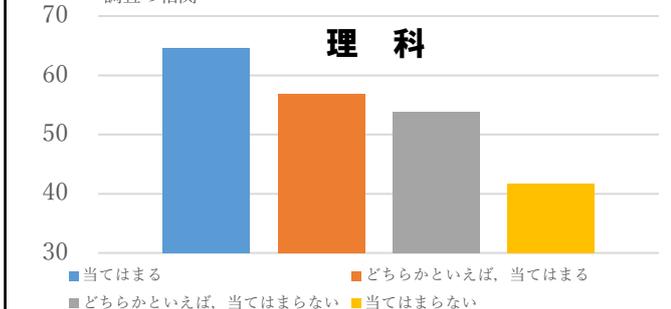
「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」回答状況と学力調査の相関



「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」回答状況と学力調査の相関



「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」回答状況と学力調査の相関

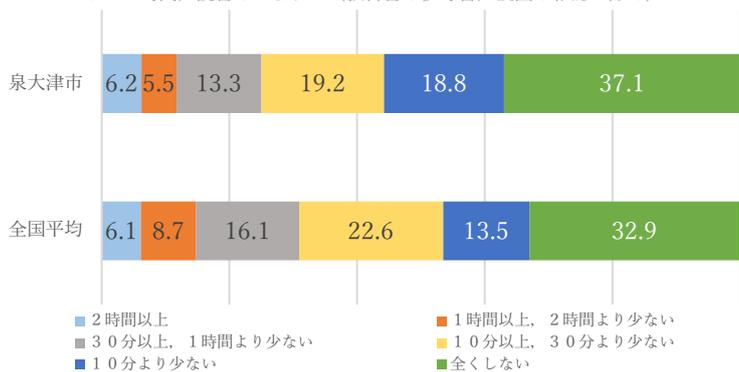


子どもが「解決したい!」
と思えるような課題を出す
ことがポイントだね。



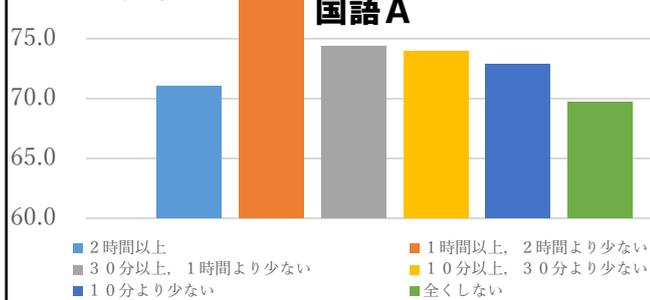
中学校

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

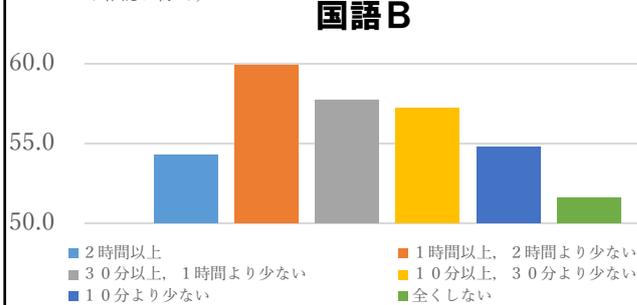


生徒質問紙（15）「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」と学力調査との関係については、家で読書をする生徒ほど正答率が高い傾向にあります。特に国語では顕著に相関関係が表れていますが、1日あたり2時間以上読書をする生徒については、どの教科でも正答率が低くなっています。

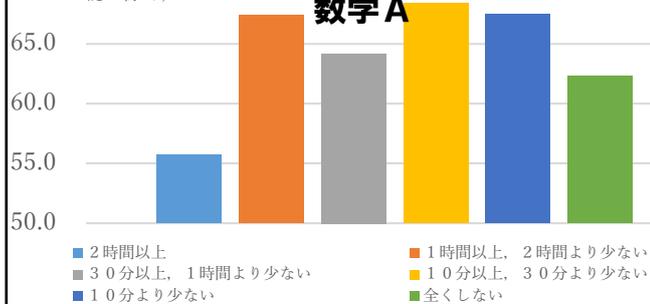
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



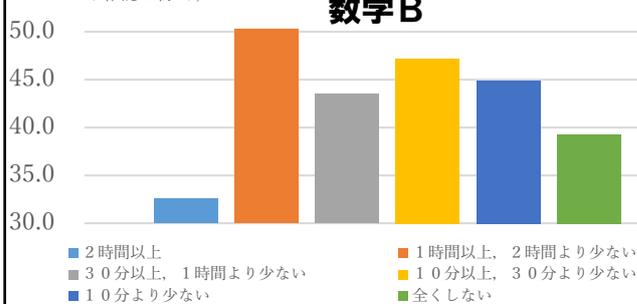
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



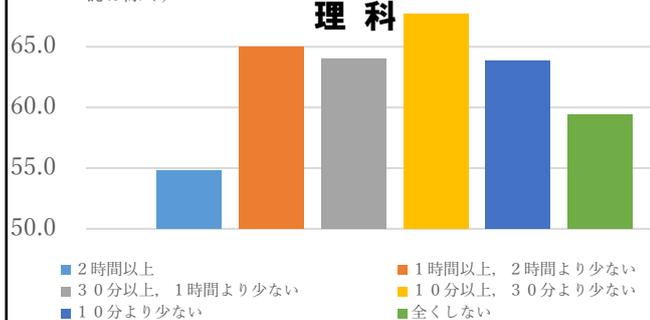
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



家庭でも、毎日の読書習慣を身につけることが大切だね。



【泉大津市の学力向上の取組み】

泉大津市における児童・生徒の学力向上をめざした取組みを紹介します。

・学力到達度テストによる取組み

小学校2年生、小学校4年生及び中学校1年生において、学力到達度テストを実施しています。小学校は当該学年の学習内容の、中学校は小学校での学習内容の定着を確認しています。テスト結果を活用して、児童生徒は個別の学習課題に取組み、教員は授業改善の手立てに役立っています。

・英語力向上の取組み

英語力向上及び自学自習力向上を目的に、市内公立中学校に通っている生徒対象に検定料の一部補助を行い、英語検定を積極的に受検する取組みを推進しています。

また中学校の英語科教員が小学校で外国語の授業を行い、小学校教員と連携しながら指導を行っています。

・国や府による少人数指導加配教員に加え、市費による少人数指導教員を各小学校に1名配置

少人数加配教員は、ティームティーチングで1クラスを複数教員で指導したり、1クラスを2つの少人数クラスに分割して指導したりするものです。子どもの学習の習熟度に分けて指導することもあります。一人の教員が指導する人数を少なくしたり、学力に応じた指導をしたりすることにより、より丁寧できめ細かな指導が可能になり、子どもの理解が進み、学力の向上につながっています。

・学校支援アドバイザーによる取組み

本市では、学校支援チームの一員として学校支援アドバイザーを3名配置しています。定期的に学校訪問を行い、各校の学力向上担当者等と連携しながら、学力向上における取組みを支援しています。

・学校独自の学力向上プラン

本市の全ての小・中学校において、学力向上担当者を中心に学力向上委員会等で協議を行い、学校独自の学力向上プランを立て、学期ごとにその進捗状況及び成果と課題の検証を行っています。小学校では、学校独自の漢字実態調査や計算力実態調査等の結果を授業改善に生かすことで基礎基本の定着をはかっています。また、中学校では、「生徒による授業評価」の結果を授業改善に生かす取組みも行われています。

・教員の授業力向上や指導方法の工夫改善に向けての支援

教員の授業力向上や指導方法の工夫改善等による授業改善は、学力向上に直接結びつくと考えています。さまざまなアンケート、研究授業や研究協議を通して、各校の取組みに対しての成果と課題を学校全体で共有し、日々の授業改善につながる支援を行っています。また、市教委主催の研修をはじめ、さまざまな校外研修の情報提供も積極的に行うなど、学校の活性化・教員の授業力の向上に努めています。

・保幼小中高連携の取組み

校種間の連携を重視し、合同研修会や実践交流会の実施、公開授業への参加、推進協議会の開催など連携の強化を図っています。この取組みによって、子どもたちだけでなく教員の交流機会が増え、校種間の円滑な接続と連続性のあるカリキュラムの構築に向けた具体的な動きを進めています。

・学びっ子支援ルームによる取組み

子どもの自学自習力を定着させることをねらいとして、3年生以上6年生までを対象にすべての小学校区で放課後学習会を行っています。支援員は、本市退職校長をリーダーとして退職教員や地域の方で構成されており、子ども一人ひとりに寄り添い、宿題をはじめとして家庭学習の習慣化の支援を行っています。

・地域教育協議会による取組み

本市すべての中学校区に地域教育協議会が設置されており、「〇〇ネット」という名称で活動しています。それぞれの中学校区ごとに、星空観望会やものづくり教室、歩こう会やフェスタなど校区の特色を生かした取組みを多数開催しています。体験や活動を通じて地域の方々と子どもたちがふれあう機会を設け、子どもの生きる力を育む実践を行っています。

泉大津市教育委員会は、本年度の全国学力・学習状況調査の結果を分析・考察した上で、各校における取組みの工夫改善を支援し、子どもたちの学力向上をめざします。